

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クレオ
 コード番号 9698 URL <http://www.creo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大矢 俊樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長 (氏名) 雨田 高志

TEL 03-5769-3640

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,108	4.5	290	—	297	—	374	—
23年3月期第3四半期	6,800	△2.2	△202	—	△191	—	△383	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 375百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △383百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	42.30	—
23年3月期第3四半期	△43.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,516	—	4,279	—	65.6	—
23年3月期	5,738	—	3,901	—	67.9	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,271百万円 23年3月期 3,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成24年2月10日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	5.3	350	—	350	733.3	400	—	45.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年2月10日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	9,237,319 株	23年3月期	9,237,319 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	377,012 株	23年3月期	372,937 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	8,862,381 株	23年3月期3Q	8,865,561 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかながら景気の持ち直し傾向が見えてきているものの、欧州の政府債務危機を発端とした、景気の下押しなどの影響があり、厳しい状況が続きました。

当業界におきましても、震災による顧客の情報化投資の縮小、延期等、設備投資を抑制する動きに下げ止まりは見えるものの、受注環境は引続き厳しい状況下にあります。

このような状況の中、当社グループはスピード感を持った経営体制に変更する為、平成23年4月1日付で当社は持株会社となり、ガバナンス及び株式関係に関する事業を除くすべての事業を4つの事業会社（新設分割設立会社3社、吸収分割承継会社1社）に移管承継し、既存子会社2社（子会社の子会社を含む）を含む6社にて当社グループの新体制を発足させております。

以上の結果、売上高は、71億8百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は、2億90百万円（前年同四半期は営業損失2億2百万円）、経常利益は、2億97百万円（前年同四半期は経常損失1億91百万円）、四半期純利益は、本社移転に伴う特別利益などの計上により、3億74百万円（前年同四半期は四半期純損失3億83百万円）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

なお、当社グループは、平成23年4月1日付の会社分割により、下記の形にセグメントを変更しております。

セグメント名称 (セグメントに該当する子会社)	主要な事業の内容 (会社分割前の事業および組織名称)
クレオマーケティング事業 (株式会社クレオマーケティング)	ZeeM/CBMS製品等の基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供 (ZeeM事業/トヨタビジネス推進室・プロダクト事業部・マーケティング統括部 関西事業/関西システム事業部 管理本部/管理本部 ※ガバナンス及び株式関係に関する事業を除く)
クレオソリューション事業 (株式会社クレオソリューション)	システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発 (システム開発事業/システム開発事業部・ソリューション事業部 モバイル事業/モバイル事業部)
筆まめ事業 (株式会社筆まめ)	はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の企画・開発・販売 (コンシューマサービス事業/筆まめサービス事業部)
クレオネットワークス事業 (株式会社クレオネットワークス)	ICT基盤サービスプラットフォームとWebToPrintプラットフォームの提供 (株式会社クレオネットワークス ZeeM事業/ICTサービス事業部)
クリエイトラボ事業 (株式会社クリエイトラボ 株式会社ヒューマン・ネットワーク)	ヘルプデスクを中心としたサポート&サービス及び教育の受託 (株式会社クリエイトラボ、株式会社ヒューマン・ネットワーク)

クレオマーケティング事業については、前期より引き続き「人事給与」「会計」「人材開発」「就業管理」製品の新規顧客開拓および品質強化による不採算プロジェクト防止に努めたことにより、前年同四半期より売上については微増、利益については大幅に改善いたしました。

その結果、売上高は15億79百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益69百万円（前年同四半期は営業損失3億3百万円）となりました。

クレオソリューション事業については、厳しい市況環境の中、既存顧客との関係強化ならびにプロジェクト管理強化による不採算プロジェクト防止を徹底した結果、前年同四半期より売上増、利益ともに改善いたしました。

その結果、売上高は22億15百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益77百万円（前年同四半期は営業損失64百万円）となりました。

筆まめ事業については、平成23年9月に発売した発売した毛筆ソフト「筆まめVer.22」を中心に出荷をいたしましたでしたが、売上・利益共に東日本大震災の影響による買い控えなどで前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は11億58百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業利益2億6百万円（前年同四半期比44.2%減）となりました。

クレオネットワークス事業については、平成23年8月に新ブランドとして発表したビジネス基盤サービス「SmartStage」を中心に展開した結果、前年同四半期に比べ、売上は増加いたしました。利益に関しては受託請負案件にて不採算プロジェクトが発生した結果、損失となりましたが、損失額は減少となりました。

その結果、売上高は3億49百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業損失41百万円（前年同四半期は営業損失61百万円）となりました。

クリエイトラボ事業については、厳しい市況環境に適應するべく、情報収集と営業活動を強化し商談数増加や受注確度向上に努めた結果、前年同四半期に比べ売上・利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は18億4百万円（前年同四半期比14.6%増）、営業利益72百万円（前年同四半期比38.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、8億68百万円の増加となりました。

これは主として現金及び預金の増加によるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、90百万円の減少となりました。

これは主として差入保証金の減少によるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億5百万円の増加となりました。

これは主として未払法人税等及び返品調整引当金の増加によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、3億77百万円の増加となりました。

これは主として四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、前回予想（平成23年11月4日）より修正しております。詳細につきましては、本日（平成24年2月10日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのための様々な要因の変更により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

(1) クレオマーケティング事業については、新規顧客の獲得の遅れが生じた場合、あるいは通期の連結会計期間に予定しているライセンス販売等の検収が来期にずれ込む場合には予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

(2) クレオソリューション事業については、事業の性質上通期の連結会計期間末月に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が来期にずれ込む可能性があります。また、今後の開発状況によっては不採算プロジェクトが顕在化する可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社は平成23年4月1日付でガバナンス及び株式関係に関する事業を除くすべての事業を4つの事業会社（新設分割設立会社3社、吸収分割承継会社1社）に移管承継し、その他の既存子会社を含む持株会社制に移行しております。

新設分割に関してはZ e e M事業のトヨタビジネス推進室、プロダクト事業部、マーケティング統括部、関西システム事業の関西システム事業部及び管理本部（ガバナンス及び株式関係に関する事業を除く。）を新設分割により設立される株式会社クレオマーケティングに、システム開発事業のシステム開発事業部、ソリューション事業部及びモバイル事業のモバイル事業部を新設分割により設立される株式会社クレオソリューションに、コンシューマ事業の筆まめサービス事業部を新設分割により設立される株式会社筆まめにそれぞれ承継いたしました。

吸収分割に関してはZ e e M事業のICTサービス事業部を既存子会社の株式会社クレオネットワークスへ承継いたしました。（株式会社クレオスマイルは平成23年1月18日に商号を株式会社クレオネットワークスに変更しております。）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,495	3,294
受取手形及び売掛金	1,921	1,786
商品及び製品	27	38
仕掛品	232	462
その他	179	142
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	4,852	5,721
固定資産		
有形固定資産	154	209
無形固定資産		
のれん	48	12
その他	355	314
無形固定資産合計	403	327
投資その他の資産	327	259
固定資産合計	885	795
資産合計	5,738	6,516
負債の部		
流動負債		
買掛金	310	321
短期借入金	29	28
未払法人税等	30	110
賞与引当金	246	248
返品調整引当金	80	257
資産除去債務	65	—
その他	963	1,165
流動負債合計	1,727	2,132
固定負債		
長期借入金	5	—
退職給付引当金	5	3
未払役員退職慰労金	33	33
資産除去債務	51	50
その他	14	16
固定負債合計	109	104
負債合計	1,836	2,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	1,428	743
利益剰余金	△557	501
自己株式	△122	△123
株主資本合計	3,897	4,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
少数株主持分	4	7
純資産合計	3,901	4,279
負債純資産合計	5,738	6,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	6,800	7,108
売上原価	5,125	5,163
売上総利益	1,674	1,944
販売費及び一般管理費	1,876	1,654
営業利益又は営業損失(△)	△202	290
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	—	3
助成金収入	11	—
その他	6	6
営業外収益合計	18	10
営業外費用		
支払利息	1	1
投資事業組合運用損	5	—
その他	0	2
営業外費用合計	7	3
経常利益又は経常損失(△)	△191	297
特別利益		
退職給付引当金戻入額	61	—
移転補償金	—	318
その他	0	9
特別利益合計	61	327
特別損失		
固定資産除却損	—	25
退職特別加算金	129	—
事務所移転費用	—	40
ソフトウェア臨時償却費	—	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	—
資産除去債務の見積り変更に伴う影響額	37	—
その他	25	18
特別損失合計	231	124
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△360	499
法人税、住民税及び事業税	9	111
法人税等調整額	13	12
法人税等合計	22	123
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△383	375
少数株主利益	0	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△383	374

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△383	375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	△383	375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△383	374
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム 開発事業	Z e e M 事 業	コンシューマ 事 業	モバイル 事 業	サポート & サービス 事 業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	2,324	1,465	1,293	140	1,575	6,800
セグメント間の内部売上 高又は振替高	29	27	0	—	280	337
計	2,353	1,493	1,294	140	1,855	7,137
セグメント利益又は損失(△)	△1	△95	370	△43	52	283

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	283
セグメント間取引消去	△36
全社費用(注)	△449
四半期連結損益計算書の営業損失	△202

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,579	2,215	1,158	349	1,804	7,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	10	0	146	377	665
計	1,710	2,225	1,159	496	2,182	7,774
セグメント利益又は損失(△)	69	77	206	△41	72	384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	384
セグメント間取引消去	△91
全社費用及び利益（注）	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	290

（注）全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料収入等であります。

3. 事業区分の変更

事業区分については、平成23年4月1日付の会社分割により、下記の形を変更しております。

セグメント名称 （セグメントに該当する子会社）	主要な事業の内容 （会社分割前の事業および組織名称）
クレオマーケティング事業 （株式会社クレオマーケティング）	ZeeM/CBMS製品等の基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供 （ZeeM事業／トヨタビジネス推進室・プロダクト事業部・マーケティング統括部 関西事業／関西システム事業部 管理本部／管理本部 ※ガバナンス及び株式関係に関する事業を除く）
クレオソリューション事業 （株式会社クレオソリューション）	システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発 （システム開発事業／システム開発事業部・ソリューション事業部 モバイル事業／モバイル事業部）
筆まめ事業 （株式会社筆まめ）	はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の 企画・開発・販売 （コンシューマサービス事業／筆まめサービス事業部）
クレオネットワークス事業 （株式会社クレオネットワークス）	ICT基盤サービスプラットフォームとWebToPrintプラットフォームの提供 （株式会社クレオネットワークス ZeeM事業／ICTサービス事業部）
クリエイトラボ事業 （株式会社クリエイトラボ 株式会社ヒューマン・ネットワーク）	ヘルプデスクを中心としたサポート&サービス及び教育の受託 （株式会社クリエイトラボ、株式会社ヒューマン・ネットワーク）

なお、当第3四半期連結累計期間と同じ事業区分によった場合の前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は以下の通りとなります。

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,490	2,101	1,293	338	1,575	6,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	29	0	95	280	431
計	1,517	2,130	1,294	433	1,855	7,231
セグメント利益又は損失(△)	△303	△64	370	△61	52	△6

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△6
セグメント間取引消去	△35
全社費用（注）	△160
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△202

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。